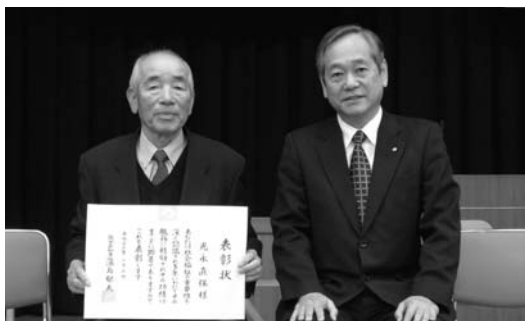




## 2/3 社会福祉功労者県知事表彰

光永直保さん（第六駐在）

平成26年度熊本県社会福祉功労者および団体等知事表彰式が県庁で行われ、知事代理の村田副知事から村身体障害者福祉協会会長の光永直保さんに表彰状が送られました。この表彰は、社会福祉事業関係団体の役員として、15年以上在職し、功績が特に他の模範となり、社会福祉の向上に貢献された人に送られるもの。光永さんは、昭和49年に旧久木野村身体障害者福祉協会理事に就任。その後、同会長を経て、合併後は南阿蘇村身体障害者福祉協会会長を務められ、その傍ら県連合会の評議員・理事、郡連合会の会長・監事などとしても活躍。約40年の長きにわたる功績をたたえての表彰となりました。



表彰を受けた光永さん（左）と村田副知事

## 2/2 プランター作りに挑戦

白水小学校5年生「木工教室」

白水小学校（大津昭一校長）の5年生9人が木製プランター作成に挑戦しました。

この取り組みは、木材の利用意義についての理解や、県産木材の需要拡大を図ることを目的に、「阿蘇地域木材需要拡大対策協議会」が阿蘇管内の小学校を対象に行っているもの。

今回使われた木材は、くまモンのデザインが入った杉の間伐材。阿蘇地域振興局、阿蘇森林組合の職員に手ほどきを受けながら、のこぎりで板を切る作業や、釘打ちに真剣な表情で取り組み、作り上げていきました。

完成後、中川優香さんは、「のこぎりがなかなか切れず難しかったです」と感想を話してくれました。



慣れない手つきながらも真剣に取り組む児童たちと完成したプランター（左上）

## 2/3 自然体感型アウトドアレジャーを期待

「みなみあそコミュニティセンター」竣工式

「あそ望の郷くぎの」敷地内に昨年7月から建築工事が進められていた「みなみあそコミュニティセンター」の竣工式が、村議会議員をはじめ、工事関係者など多くの方が出席して行われました。

同センターは、延べ床面積586.16㎡、木造一部2階建て。総合アウトドアブランド「モンベル」の出店スペースや、コミュニティホールなどを整備。

竣工式で、長野村長は、「当施設がアウトドアツーリズムにより、交流の拠点の場として、さらなる地域振興につながるなど、地域創生の一翼を担うものと確信しております」と式辞を述べました。



竣工式で式辞を述べる長野村長



完成した「みなみあそコミュニティセンター」



さまざまな整備が予定されている建物内部